

6月29日：GDP成長率の鈍化と新型コロナへの懸念が重しとなり下落

ベトナム株は月曜日に下落した。GDP成長率の伸びが大きく鈍化したことや新型コロナの感染拡大が投資家心理に悪影響を与えた。

ホーチミン取引所のVN指数は2.65%安の829.36ポイントで取引を終えた。

VN指数は先週1.91%ほどの下落をしていた。

出来高は3億9000万株で売買代金にして5.6兆ドンであった。

国家統計局（GSO）が月曜日にベトナムの上半期GDP成長率が10年ぶりの低水準である1.81%であったという報告があったことでベトナム株は下落した。

第2四半期のGDP成長率はわずかに0.36%だったことも嫌気された。30年前に統計が始まってから最低だった。

市場心理は新型コロナの第二波や米中摩擦の激化への懸念も強めているとKB証券のストラテジストは語った。

新型コロナの死者数は50万人を超えそのうちの25%を米国が占めているとロイターは報じた。

MB証券のアナリストによると、テクニカル的には指数的にも流動性的にも一度高値を付けたと思われる。そのため調整は必要不可欠だったとのことである。

同氏はVN指数は832-836ポイントの支持線を試す展開になると思われる。この水準を維持できれば横ばいが続くだろう。割れてしまった場合は警戒感を強める必要があると語った。

VN30指数は2.6%安の774.81ポイントで取引を終えた。30銘柄の内の28銘柄が下落した。

コテコンズ建設（CTD）は4.8%高、エクシムバンク（EIB）は1.4%高であった。一方、バオベトホールディングス（BVH）、FPTコーポレーション（FPT）、ペトロベトナムガス（GAS）、マッサングループ（MSN）、ビングループ（VIC）、ビンホー

ムズ (VHM) 、ビナミルク (VNM) 、ビンコムリテール (VRE) 、モバイルワールド (MWG) などは下落した。

銀行株も振るわず。アジアコマーシャル銀行 (ACB) 、ベティンバンク (CTG) 、BIDV 銀行 (BID) 、ベトコムバンク (VCB) 、軍隊商業銀行 (MBB) 、VP バンク (VPB) などが下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 2.76% 安の 110.32 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週 1.65% ほど下落していた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。